

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会  
第92回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和6年8月20日（火）  
会場：大分商業高等学校 水球プール

ゲームNo.

19

帽子の色 白

帽子の色 青

明大中野

17

5	-	2
2	-	0
5	-	2
5	-	4
PSO		

四日市中央工業

8

審判1： 唐木慎太郎  
審判2： 石谷 啓輔

戦評

堅守速攻をモットーとし試合に挑む明大中野と東海ブロック史上初の4連覇を達成してきた四日市中央工業の3位決定戦。

第1ピリオド、白、明大中野からのセンターボールで試合開始。

カウンター青②庄山、ミドルシュートを放ち先制。白④武田、フローティングから得点。白③和田のボールカットから抜け出した⑤森川が冷静に決める。互いにカウンターの攻防を繰り返すが得点に繋がらず、白⑥渡邊が相手ディフェンスを背負った状態から得点し3-1。白⑥渡邊からパスを受けた④武田がゴール前で切り上がってシュートを放ち、点差を広げる。白④武田、退水を誘発し⑤森川がフェイクシュートを決める。青②庄山、シュートフェイントから個人技で相手ディフェンスを回し込み得点を決め5-2、明大中野がリードし第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、白⑦角道が相手ディフェンスの前に入り込みシュートを放つもGK⑬湯浅が好セーブ。4分間攻防ののち、白③和田がカウンターで得点。青⑤園田、回し込みから退水を誘発するも白②南がシュートブロック。白⑥渡邊、相手ディフェンスがゴール前を警戒した隙を見逃さずにミドルシュートを決める。白⑩鈴木、フローティングから退水を誘発するも得点に繋がらない。青⑤園田、ゴール前で退水を誘発し第2ピリオドを終える。互いにGK白①村田、青⑬湯浅がスーパーセーブを連発するピリオドになる。

第3ピリオド、白④武田、退水を誘発するもGK⑬湯浅が止める。白⑤森川、連続得点で4点目。青⑥川原、退水誘発。5分21秒、四日市中央工業T0を取るも得点に繋がらない。白⑤森川、退水誘発。4分57秒、明大中野T0。白⑥渡邊が得点。青⑥川原、相手ディフェンスが下がった隙を見逃さずにシュートを決める。カウンターから白⑤森川が得点。白⑩鈴木、退水を誘発するも得点ならず。青⑥川原、ゴール前で粘り得点を決める。青④松田、退水を誘発するも白②南がシュートブロック。白③和田、フェイクからシュートを決める。青③山崎、退水を誘発し第3ピリオド終了。四日市中央工業、8点差を縮められるか。

第4ピリオド、センターボールを取り四日市中央工業2回目のT0をするも得点に繋がらない。白④武田、退水を誘発し②南が得点。青⑤園田、退水を誘発し得点。白③和田、右サイドからボールを持ち込み得点。白⑤森川、居残りから得点。3:2カウンターから白⑪吉岡が得点。白④武田、3得点目。青③山崎、退水を誘発し得点。青②庄山、ポスト直撃のミドルシュートを叩き込む。6:5カウンターから青④松田、GKの頭上を抜くシュートを決めるも試合終了。

気力を尽くした試合の結果、明大中野が3位、四日市中央工業が4位入賞となった。

記録者

今崎哲也・柳川洋志・菅原剛